

東京薬科大学新聞

発行所 東京薬科大学
責任者 須藤雅之

四・五月合併号

全員完走!

——マラソン大会——

今年もマラソン大会が無事に終了した。参加は全員完走。男子はスキー部の門倉芳雄君、女は生研の島晴子さんが一位だった。

夢中で走った——門倉君
走るの好き——島さん

五月十日(土)体育会担当の第十一回マラソン大会が行われた。当日はあいにく午後から突然強い雨が吹き出し、肌寒く感じる日となったが、職員二十一人・学生二十四人を合心優勝七百五十五人が参加した。女子が二時五分、男子がその十五分後それぞれスタートした。ゴールを目指して、盛大にレースが繰り広げられた。

男子八キロメートルは、ゴール付近で激しい追い込みがあったが門倉芳雄君(二年)が逃げきって優勝。女子四キロメートルは島晴子さん(二年)が独走状態でゴールインした。

閉会式では、最後まで自分で走り抜くことを誓います。と、中山一郎君と大塚紀子さんと、中山一郎君と大塚紀子さんの力強い選手宣誓があった。その言葉通り速い人はスタート後約三十分、遅い人も二時間弱で参加者全員が無事ゴールした。昨年十位だった門倉君は「自信は全然無かった。何も考えずに、ただ夢中で走った」と言い、島さんは「学

術系のクラブで運動不足だから、完走できればいいと思ってた。走るの好きという気持ちから好き」と言いながら、全コースを走り抜いた。その顔にも、結果はさておき満足感が満ちていた。なお、上位五十人は表に掲げた通りである。

今回は学術系クラブから優勝者が出たり、上位入賞者を単一クラブが独占するなど、何かと話題を多く呼んだマラソン大会となった。同時にいくつかの問題点もクローズアップされた。コース案内が不明瞭であることや参加人数の減少(昨年より百二十四人減少)などである。今後マラソン大会を更に充実させるためにも指摘された点を見つめ直し次回以降とすべきであろう。

新歓キャンブ

四月三日(木)〜五日(土) 北野大学セミナーハウスで新入生歓迎キャンブが行われた。今年は天候にも恵まれ、さまざまなクリエーションを通じて参加者相互の親睦が深められた。

このキャンブの目的は「新入生に東京薬科大学について知ってもらい、一日も早く大学生活に慣れさせてもらう」ということである。この点に關しては、今年から新入生と上級生の相部屋を設けたことがよかったように、ますますの成果を上げられたといえる。互いのコミュニケーションを十分に時間をかけられたことも、キャンブが成功した一因であろう。

しかし人数の関係で食事の時間が短くなってしまったり、苦情が出たなど、些細な点ではあるが、無視できない。新歓行事を益々発展させていくために、今年度の反省を活かし、来年に向けて新たに準備を進めていってもらいたい。



き 扶倉君 走り門をす 走るの好き——島さん

マラソン大会BEST50

男子				
順位	学生番号	氏名(所属)	タイム	氏名
1	01072	門倉 芳雄 (スキース)	35'41	貴士 也樹人
2	01042	浦山 浩明 (陸上)	35'43	貴直 貴直
3	01077	山賀 誠 (陸上)	35'59	人明 雅宏
4	01011	有井 道品 (陸上)	36'12	秀吉 秀吉
5	91026	井上 幸三 (卓球)	36'15	貴正 貴正
6	11235	道幸三 (卓球)	36'15	崇久 崇久

順位	学生番号	氏名	順位	学生番号	氏名
7	01085	也文 雅也	11	1191	新田 貴直
8	01160	前中 浩	12	1175	新田 貴直
9	01170	中野 浩	13	1175	新田 貴直
10	01030	中野 浩	14	1175	新田 貴直
11	01181	中野 浩	15	1175	新田 貴直
12	01142	中野 浩	16	1175	新田 貴直
13	03084	中野 浩	17	1175	新田 貴直
14	01194	中野 浩	18	1175	新田 貴直
15	01106	中野 浩	19	1175	新田 貴直
16	01130	中野 浩	20	1175	新田 貴直
17	01283	中野 浩	21	1175	新田 貴直
18	01106	中野 浩	22	1175	新田 貴直
19	01106	中野 浩	23	1175	新田 貴直
20	01106	中野 浩	24	1175	新田 貴直
21	01189	中野 浩	25	1175	新田 貴直
22	01098	中野 浩	26	1175	新田 貴直
23	01080	中野 浩	27	1175	新田 貴直
24	01224	中野 浩	28	1175	新田 貴直
25	01107	中野 浩			
26	01149	中野 浩			
27					
28	01224	中野 浩			

女子				
順位	学生番号	氏名(所属)	タイム	氏名
1	04095	島山 晴美 (研)	26'43	香子 香子
2	14198	山中 晴美 (研)	27'31	由悦 由悦
3	04122	山中 晴美 (研)	27'43	由悦 由悦
4	14149	山中 晴美 (研)	27'53	由悦 由悦
5	14060	山中 晴美 (研)	28'02	由悦 由悦
6	04015	山中 晴美 (研)	28'03	由悦 由悦

順位	学生番号	氏名	順位	学生番号	氏名
7	2930	橋口 由悦	14	1110	橋口 由悦
8	3031	橋口 由悦	15	1123	橋口 由悦
9	3132	橋口 由悦	16	1405	橋口 由悦
10	04032	橋口 由悦	17	0414	橋口 由悦
11	14057	橋口 由悦	18	14084	橋口 由悦
12	14092	橋口 由悦	19	14136	橋口 由悦
13	14023	橋口 由悦	20	14085	橋口 由悦
14	14124	橋口 由悦	21	14184	橋口 由悦
15	14059	橋口 由悦	22	14078	橋口 由悦
16	04108	橋口 由悦	23	94193	橋口 由悦
17	04108	橋口 由悦	24	14106	橋口 由悦
18	04041	橋口 由悦	25	14052	橋口 由悦
19	84078	橋口 由悦	26	14065	橋口 由悦
20	04182	橋口 由悦	27	04037	橋口 由悦
21	14091	橋口 由悦	28	94114	橋口 由悦
22	84159	橋口 由悦			
23	04013	橋口 由悦			
24	14011	橋口 由悦			
25	14011	橋口 由悦			
26	14011	橋口 由悦			
27	84158	橋口 由悦			
28	84158	橋口 由悦			

※空欄は本人の署名が無いため不明
同タイムは目視判定による。(学部生のみ)

由木オリ

四月十三日(日) 学術部門担当の由木オリ(日)学術部門が行われた。当日は天候にも恵まれ、暖かな春の陽しの中、競技が繰り広げられた。参加者達は、十二の班に分かれ、平山城址公園や由木地区を散策しながらゲーム、クイズを行い、点数を競いあった。ゲーム、クイズともなかなか熱中したものであったが、どの班でも中心になるのは一年生。上級生が後を追い取り元気が新入生の後を追うという光景があらわに見られた。勝つておいたカードがなくなってしまうなどのハプニングがあったが、全体としては時間通り

波乱の 駐車場問題

例年、四輪学生駐車場をめぐって学生から不満の声がある。なぜ大学まで遠い人は許可されて近い人は許可されないのかという疑問がある。そこで駐車許可証を発行している執行委員会にその選考の基準と段階を聞いてみた。第一に駐車違反。これまで駐車場、校内に悪質な(五回以上)駐車違反をした者には発行しない。一月半が経過した学生には、まず発行されない。第二に、学年の順に優先。これは四・三年生の方が研究

選挙速報

	立候補者	信任	不信任	無効
執行委員長	沢田 真向	978	53	15
副執行委員長	佐藤 敬	965	57	24
副執行委員長	堀 二三枝	981	45	20

投票率 52.59%

歩け歩け大会

四月十七日(日)文化部門担当の歩け歩け大会が行われた。長い距離を歩くには少し暑すぎる日だったが、中原原のさくらボウル前を出発した参加者達は元気に大会を目指した。各班に分れた参加者達はおしゃべりをしながら半ほど全員が無事コミュニケーションハプニングに到着した。昼食が届くのが遅れるというハプニングも無事歩け歩け大会は終了した。

四月二十日(日)は同好会担当の高尾山ハイキングが行なわれた。ハイキングが人気のため、多摩動物公園見学に変更された。傘をさしながら歩いている人々の姿が、みんなど動物園を見学して帰った。前々から準備を進めてきたスタンプは残念だったが縦横のつながりを深めるという意味では、かなりの効果も上げられたといえる。

や実習などで滞りが遅くなることが多い。第三は、通学に使用する交通機関。車を使うより鉄道など他の交通機関を使った方が明らかに速い場合。これも許可されない。京王線沿線は、最寄り駅まで距離があるなどの場合には、許可されないこともある。

第四に使用する道路。家から主要道路に出ず、その道のりは渋滞しないかなど。このように、ただ単に大学までの距離が遠いとか近いとかいう問題だけではなく、選考については、一件一件三千分の一の地区において、住所と使用する道路を確認していることである。約二百件の申請があり、第一次発表で七十生が四・五十件、三年生が二十件、そして二年生が二・三件である。このことから、大多数は学年が優先されるようである。

ところで、これらの選考の基準と段階が今一つ学生側から理解されていないように思われる。かなりの数の学生に不信の念を抱かれているのも確かである。申請した学生を集めて説明会を行っても、何らかの措置をとらなければならない。これは、申請書の備考欄へは必ず記入していただくことである。だが、クラブの理由では、無理である。どうして納得がいかない場合には、執行委員会の担当のところに本人が行けば説明することである。これからのより良い改善を望む。

